

知ってほしい思いがある

いつも体調が気になります。
明日どうなるかわからない
という気持ちでケアをして
います。

進行性疾患のため、
この先の病状や状況に応じた
生活の変化に不安があります。

健康な体に産んで
あげられなくてごめんね
といつも思います。

できる限り、ふつうの子どもと
同じように育てたいです。
色んな体験を積んで、毎日
楽しく元気に過ごさせたいです。

入園や就学ができるの
だろうか？卒業後は
居場所があるだろうか？

きょうだい児にさみしい思いや
我慢ばかりさせてしまう。
学校行事に出席したり、
お出かけに付き合っただけでも
ケアを任せられる支援者がいない。

災害時も不安です。
避難場所にも行けないし
ライフライン途絶えたら
どうしよう…

子どもの成長とともに
親も年を取る。
この先もしっかり
みることができるだろうか？

わたし（母）が
いなくなったら、
この子はどうなる？

こころの拠り所を、そして

繋がりをもてる居場所として

令和4年度WAM助成採択をきっかけに、
『集いの場 医ケアサロン ここから』を開設しました。
当事者の居場所・こころの拠り所としたものだけでなく、
支援者をはじめ、いろんな方々へむけた周知啓発
の場としています。地域で生きていくために、多方面
と繋がりを持つことは、日頃の生活のみならず、災害
時などにきっと役立ちます。
そして、わが子と家族のための『あったらいいな』を
見つけて増やしていけるきっかけとなれるような
居場所を続けていきます。



ここからひろがりつながる

大分県医療的ケア児者の 親子サークル ここから

医療機器・医療ケアが欠かせない人たちがいます
だれもが愛する人たちと一緒に過ごす
だれもが遊んで学んで輝いて生きる
幸せな気持ちで毎日を過ごせる社会をめざして

対象
医療ケアが必要な児者と
その家族
そんなメンバーを
サポートして下さる
関係機関の皆様

活動内容
●交流・イベント
●情報交換
●啓発・学び
●生活改善に向けた
周知と関係機関との
連携を図る

お問い合わせ：担当 安藤
TEL：090-7164-9751
メール：i.care.oita.cococolor@gmail.com

Instagram・Facebookにて
情報発信中。ぜひご覧ください



医療的ケア児者を 知っていますか？



医療的ケアとは

日常生活に必要な喀痰吸引や経管栄養、人工呼吸器などの医療機器の管理その他の医療行為のことをいいます。医療行為は、本来主に医師と看護師が行うものですが、日常生活を送るためには必要なものであるため、家族やその他の認められた介護者などが、医師の指示のもと、行うことが認められています。

医療的ケアの種類

- 呼吸管理：人工呼吸器、気管切開、吸引吸入、酸素吸入等
- 栄養管理：経管栄養、胃ろう・腸ろう中心静脈栄養法（IVH）等
- 排泄管理：導尿・尿持続カテーテル管理腹膜透析・浣腸等
- 糖尿病管理：血糖測定、インスリン注射



私たちのねがいは



令和3年4月時点で、医療的ケア児の人数は全国で約2万人、大分県では約130人いるとされています。医学の進歩を背景として、現在も増え続けている医療的ケア児ですが、児と家族の生活を支えるための支援体制は十分ではありません。だれもが適切な支援を受けることで、健やかに成長できる、笑顔で幸せな生活を送ることができる、そのような社会になることを願っています。

ここからの活動について

医療的ケア児者と家族がともに輝く生活の実現をめざして

交流・情報交換の場



医療的ケア・子育て、就園や就学・親亡きあと等の将来について、利用している福祉サービスについて等、当事者の不安や悩みはたくさんあります。当事者同士が交流する機会をすることで気軽に相談・情報交換できる、横のつながりを持ち"孤"育てにならない環境を目指しています。

体験・遊びの場

イベント方法や場に工夫と配慮、有資格者によるサポートを頂いて子どもたちへ様々な体験の機会をつくれます。また、大人も一緒になってワクワク、リフレッシュできる時間となるような活動を目指します。



学び・相互理解の場



医療保険制度や福祉サービスなど、制度や支援のあり方はとても複雑ですが、生活のために知ることは重要です。有資格者による勉強会で理解を深めること、そして、当事者と支援者の顔がみえる関係をつくり、互いの課題を共有し、新たな支援発掘・拡充を目指します。